

# 従来より 50%小さい鉛電池をトラック・タクシーへ

(1年間の環境貢献は、トヨタの年間利益に近い2兆円以上になります)

私共(ITE=国際技術交流協会:米国非営利法人)の電池研究所で開発した有機ポリマー添加剤技術で世界中のトラック用・タクシー用のエンジンスタート用鉛電池(全体で年約 20 兆円製造)の重さと大きさ(サイズ)を50%以上小さくすることができることになりました。50%小さくしても寿命は従来品以上(5年以上)で年2兆円の省エネ省資源となり環境に大きく貢献ができることになりました。(三和運送事業(株)の5年間のテストで確認)

重いから鉛電池は将来性はないと考えている人も多いのですが、鉛電池の全使用量の65%を占めるエンジンスタート用(SLI用)が、その重量を50%以上削減できたのですからITE技術によりこの電池は今後もかなり長く人類の為に使用し得るものになりました。今年こそはトラック会社、タクシー会社に50%小さい電池を使っていただく様に我々一同は、事業展開しましょう。

ITE 電池研究所:小澤昭弥(前東北大教授)、間瀬俊三(ITE 副理事長)、川辺剛(箱根石油社長 ITE オフィス

Fax:0460-83-5615)

ITE 静岡 EV 電池センター(浅場 Fax:054-238-1060)